

平成 17 年 度 山 梨 県 建 築 文 化 賞 等 選 評

賞の名称	部 門	建築物の名称	選 評
建 築 文化賞	住 宅 建 築	清里アートギャラリー	<p>八ヶ岳の麓に建つ木造住宅である。 周囲を唐松などの原生林で囲まれたすばらしい自然環境の中にあり、それらの木々の見え方にこだわった床の高さとするなど、きめ細かな設計がなされている。 また、三日月の形に似た舟形エレメントという新しい発想による構造計画により、曲面を上手に組み合わせるなど、高度なデザイン性を持った豊かな空間を生み出している。 さらに、建物のファサード（正面）は、敷地周辺の木々の垂直性をイメージするなど、建物のデザインが八ヶ岳の自然に溶け込んだ優れた作品である。</p>
建築文化 奨励賞	住 宅 建 築	境 川 の 家	<p>笛吹市の南西部に位置し、既存集落に建つ木造住宅であり、約 200 年前の古民家を移築再生したものである。 元の住宅は、天井が低いと、部分的に既存の天井を改修し、勾配天井としたり、柱に木材を継ぎ足すことにより、開口部を高くするなど、古民家のデザインを感じさせつつ、現代的な住まい方を可能にした住宅として再生させた。新たな材料に県産材を多用するとともに、高度な省エネ対応がなされているなどの特色がある。既存集落の風景の中に、明るくなつかしい雰囲気心地よい。</p>
		びゅー View はうす House	<p>中道町の東部に位置し、住宅が点在する果樹地帯に建つ住宅である。 2階に居住ゾーンを置くことで、良好な眺望を確保するとともに、開口部からの通風により、夏期においても、快適な住環境を実現している。家族の集う空間は、木とガラスの構成により影と光のコントラストを楽しむことができ、南北に大きく開かれた窓と南側に大きくせりだしたウッドテラスにより、開放的で潤いのある居住空間が生まれている。 シンプルな外観と平面計画に、建築主の住まい方が生かされた、優れた住宅である。</p>
	公 共 建 築 等	上野原市庁舎・ 文化ホール	<p>上野原市の既成市街地に建つ多目的ホールを備えた市庁舎として建て替えたものである。 本施設は、行政機能、市民憩いの場、文化活動や各種イベント会場としての機能を統合したタウンホールとして機能しているとともに、ローコストでありながら、ユニバーサルデザイン化のほか、雨水利用や太陽光発電等により、市民や地球環境への配慮もなされている。 庁舎と多目的ホールを一体として設置したことと、屋内ステージを屋外でも使えるよう工夫したことにより、市民活動の拠点にふさわしい施設となっている。</p>
		東山梨消防本部 山梨消防署	<p>山梨市の中心部に建つ消防署である。 消防署として最も重要な機能を、「迅速な緊急車両の発進」と位置づけ、執務ゾーン、待機ゾーン、解放ゾーンの3つのゾーンにエリア分けし、個々のゾーンの独立性を保ちながら、それぞれに独自の動線を確認することにより、コンパクトで素早い緊急活動を可能にしている。 また、素材、色彩、ディテール、サインなどの設計密度の濃さは評価に値するとともに、シャープな外観の中に、細かな配慮があり、公共建築として好感がもてる。</p>
良好なまちなみ 景観を形成して いる建築物等		あ お や ぎ 宿 お い わ け かん 追 分 館	<p>増穂町の中心市街地に建つ、町の商工会が運営する飲食店である。 本施設は、商工会が約 120 年前の古民家を借り受け、再生し、商店街の活性化を目的とした郷土料理を中心とした飲食店としてオープンしたものである。 昔の面影をほとんど壊してないため、情緒ある雰囲気が感じられるとともに、古く重々しい屋根などは、当時の匠の技を思い起こさせ、隣接した歴史的建物と相まって、地域の歴史を映し出している。いつまでも、地域のまちなみ景観の核として、良い影響を与え続けることと思われる。</p>